

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和8年7月15日

施設名	高知県立美術館	所管課	文化振興課
-----	---------	-----	-------

1 施設の概要

指定管理者名	高知県文化財団	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
施設所在地	高知市高須353-2		
事業内容	・美術品及び美術に関する資料の収集、保管及び展示 ・美術に関する専門的な調査研究 ・美術に関する講演会、講習会、研究会等の教育普及活動 ・美術品等の展示のための県民ギャラリーの提供 ・音楽、演劇等の鑑賞のためのホールの提供 ・上記のほか、美術館の設置の目的を達成するために必要な業務		
施設内容	〈建物〉 延べ床面積：11,723㎡ 鉄骨鉄筋コンクリート造地上3階建 〈土地〉 15,912㎡ 駐車場 144台 〈主要施設〉 常設展示室、企画展示室、石元泰博展示室、県民ギャラリー、講義室、創作室、ミュージアムショップ、レストラン、美術館ホール(399席)など 〈開館時間〉 午前9時～午後5時(ホール、リハーサル室及び楽屋は午前9時～午後10時) 〈休館日〉 12月27日～1月1日 〈主な料金〉 常設展 一般400円・大学生280円 ※高校生以下、高知県長寿手帳(65歳以上)、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳を所持する者と介護又は介助者1名、高知市長寿手帳を所持する者は無料 施設利用料 県民ギャラリー24,470円(1日)、企画展示室61,200円(1日) ホール41,590円～105,820円(1日)		
職員体制	常勤職員：15人 契約職員：12人 合計：27人		

2 収支の状況

単位：千円

		令和6年度(決算)	令和7年度(決算)	令和8年度(予算)
収入	県支出金	369,519	377,559	426,379
	使用料・手数料	40,815	58,088	51,444
	その他	35,640	18,390	18,024
	収入計 (a)	445,974	454,037	495,847
支出	事業費	140,379	143,763	99,694
	管理運営費	156,585	209,019	269,372
	人件費	153,688	116,102	126,781
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	450,652	468,884	495,847
収支差額 (a)－(b)		-4,678	-14,847	0

3 利用状況

	6年度(実績)		7年度(実績)		8年度(目標)	
①年間利用者数(単位:人)	常設展	5,465	常設展	7,775	常設展	6,000
	企画展	20,017	企画展	33,411	企画展	53,000
	ホール	2,848	ホール	1,707	ホール	3,960
	貸館	102,806	貸館	115,468		
	その他	12,605	その他	12,069		
	合計	143,741	合計	170,430		
②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況 時期:令和7年4月1日～令和8年3月31日 方法:企画展…受付にてアンケートの手渡し、QRコードの併用 ホール事業…会場入り口にてアンケート手渡し。 回答数:2,696枚(回収率6.7%) 調査結果:「とてもよかった」、「よかった」と答える人が大多数で、来館者からの満足度は高い。					
	○ 利用者意見等を踏まえた対策 ・ホール事業で初めて導入したU30チケットがアンケートで好評であったため、その後も若年層へのサービスは継続している。 ・展覧会場で観覧順路、特にパネルの裏側に回る順路が分かりにくいとの意見に対して、昨年度の展覧会でも順路表示の矢印をつけた。 ・週末のギャラリートークにおいて「人が多く聞き取りにくかった」との意見を受けて平日にも開催した。					
	○ その他					
③その他特記事項						

4 年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	・建物、設備の管理については、適宜修繕を行い、観覧者の安全性や快適性を保つ等、適切な管理運営が遂行されている。 ・高知県立美術館の設置及び管理に関する条例や基本協定書、仕様書及び事業計画に基づく適正な運営管理が実施されている。
②利用者サービスの維持向上	・利用者アンケートで指摘された事項について、すぐに対応及び改善に取り組んでいる。また、サービス部会による利用者サービス向上の取組が出来ている。
③利用実績	・常設展、企画展の合計観覧者数は41,186人で、第5期指定管理期間の要求水準(50,000人)を達成出来ていなかったものの、様々なジャンルの企画展を開催するなど、意義深い展示が出来ている。
④収支の状況	・適切な会計処理ができています。 ・経費削減に努めているものの、支出において前年度に比べマイナスが拡大しているため改善が必要。
総合評価	B ・様々なジャンルの企画展やホール事業を開催することにより、質の高い芸術に触れる機会の創出が認められる。 ・第5期要求水準である「指定管理期間5年間の常設展、企画展観覧者数250,000人以上」の目安である年間観覧者数50,000人に対し、7年度実績は「年間観覧者数41,186人」であった。6年度と比較して約1.6倍増加しているが、目標達成できるよう集客力向上に期待したい。 ・職員が意見を出し合い、サービス向上のための改善や広報の工夫を行っていることが認められる。 以上のことから、おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたものと認められる。

- 【評価の目安】
- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの